

《別紙》

1. 開催年月日 令和6年11月25日(月)開催
2. 開催場所 田無駅南口 食助
東京都西東京市南町4丁目4-2 田無1F プリンズプラザ
3. 出席委員
委員総数 7名
出席委員 5名 下川隆委員長 松川紀代実委員
賀陽智之委員 村田志保委員 野澤秀夫委員
欠席委員 2名 山本恒安委員 小松真弓委員

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 青木崇(制作室ディレクター)
飯島千ひろ(制作室) 高橋絵里(制作室)

4. 議題

審議番組：10月20日(日)『ミッドナイトスクール』より中高生ラジオプロジェクト
市民協働企画提案事業(U29チャレンジ部門)採択事業として

「中高生ラジオプロジェクト」を実施。

現役大学生の有志が企画から進行まですべてを行っているラジオ番組、

「ミッドナイトスクール」に市内の中高生の出演者を募集し、応募のあった中高生と
一緒に西東京市のこと、ラジオのことを語る番組をつくる企画

ラジオCM計4本

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・ ミッドナイトスクール、メインでしゃべられてる方が早口だがとても分かりやすい言葉を使い
明るく優しい印象が伝わる。
- ・ 選ばれた3名、個性があって聞いていて楽しかった。
- ・ 最近の中学生はほとんどラジオを聞かないと言っていたが、放送時間が夜11時との事が遅く
放送時間ももったいないと思った。
- ・ 名前がはっきり聞き取れないことがあった。
- ・ CMはタイトル名をしっかり伝えてほしい。
- ・ 学生が早口で聞き取りにくかった。自分たちが楽しければ良い放送ではないことを認識してほしい。
- ・ テーマ、西東京市の良いところでもよかった。
- ・ 中高生は自分たちの目線で率直に本音で意見を述べてくれていてよかった。
あまりラジオを聞かないとの事だったので、これをきっかけに興味を持ち
ラジオを聞いてもらえたらと思った。
- ・ CMは大人向けのを一つ入れて入れていただけると嬉しかった。
- ・ パーソナリティーが丁寧に中高生を紹介し、名前を挙げてから意見を聞いているので
誰の発言なのかがわかりやすかった。
- ・ 中高生の今を聞くことができ、大人の私たちも学ぶことが出来た。
- ・ ラジオのイメージ調査も興味深かった。ラジオは洒落てる人が聞くイメージなのが驚いた。
逆に格好悪い古いと思われるのかなと思っていたので、これからもコミュニティFMの制作には
良い影響ももてる意見だと思った。
- ・ 話のまとめとして『ラジオが中高生の生活に近いものと放送を聞く』という意見にまとまったが、
結論に持って行くまでの司会の方の持って行き方がとても上手だった。
- ・ CMについて、若い方々の意見は大事だと思った。滑舌もしっかりしており聞きやすかった。
期間限定ではなく、ずっと流せるようにしてもらえたらと思った。
- ・ 今回の中高生ラジオプロジェクトは行政との共同企画を大学生が共創できていることに
正直感動すら覚えた。FM 西東京と西東京市が手を取り合いこれからも素敵なまちづくりを
行っていただきたい。
- ・ BGMのボリュームが大きく声が聞き取りにくいと感じたので、もう少しボリュームを下げて
もらえるとよかった。
- ・ 若者目線のコメントを増やすとさらに面白い番組になるのではないかと思った。
- ・ 最近ではテレビを見ない学生も増えているとの事なので、例えば学校生活や部活。流行りの音楽や
アプリの話題、なんかを取り入れるとリスナーを獲得するいい機会になるかもしれない。
- ・ 放送時間については中学生にとっては少し遅い気がする。
特に部活や宿題で疲れている日は早めに寝ることも多いので、もう少し早めの時間帯だと
もっとリスナーが増えるかもしれません。

局の回答

- 大学生のスピード感が今回評価の分かれた部分かと思えます。
今回ミッドナイトスクールに出演している学生を含め皆さんラジオを制作や喋ることに興味を持ち集まったメンバーです。技術的にはまだまだ足りてない部分があるかと思えます。
局としてはワンシーズンに1度ミーティングを行いながら指摘等もしております。
企画内容を含めターゲットへ届いているのか、それ以外のリスナーへ興味を持ってもらえるようなものができているのか、というところに関しては、まだまだ一緒にこうアドバイスしながら作っていかなくちゃいけないという気もしております。
ミッドナイトスクール放送時間に関しては引き続き本人たちと話しながら検討していこうかと思っております。
ただ今回の企画もですが、自分たちの目線で中高生との会話や中身のコーナー企画というところもやっております。そこは高く評価したい部分です。
ミッドナイトスクールのメンバーでその番組だけじゃなくてプラスアルファで他の番組やイベントなども積極的にサポートしてくれている貴重な戦力なので今後も学生の本当にいいところを引き出しながら、我々の方でも上手く情報などをキャッチしながら一緒にやっていきたいと思っております。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
なし
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載
9. その他の参考事項
なし